

「オリンピック・パラリンピック・ムーブメント全国展開事業」

鳥取県地域セミナー 報告書

2019年10月1日（火）に、「スポーツ庁 オリンピック・パラリンピック・ムーブメント全国展開事業」鳥取県地域セミナーが開催されました。当日は、今年度の推進校の先生方 11 名に参加いただき、下記の要領で行われました。

【開催概要】

日時：2019年10月1日（火）14時00分～16時00分

会場：鳥取県庁第2庁舎 4階 第34会議室

主催：鳥取県教育委員会事務局、早稲田大学オリンピック・パラリンピック教育研究センター

参加者：11名

プログラム：

14:00～14:05 開会挨拶

鳥取県教育委員会事務局 体育保健課
課長 住友 正人 氏

14:05～14:10 認定証授与

14:10～14:20 事業概要説明

早稲田大学オリンピック・パラリンピック教育研究センター
副センター長 深見 英一郎 氏

14:20～15:10 全国実践事例及び教材紹介

早稲田大学オリンピック・パラリンピック教育研究センター
研究員 岡田 悠佑 氏

15:10～15:20 事業実施上の留意点

鳥取県教育委員会事務局 体育保健課
係長 池田 康明 氏

15:20～16:00 情報交換

開会行事では、鳥取県教育委員会事務局体育保健課の住友氏より、ご挨拶をいただきました。今年度から推進地域となった鳥取県では、本事業を通して、2020年の東京オリンピック・パラリンピック競技大会への機運を高めるとともに、子どもたちがスポーツやオリンピック・パラリンピックの価値や魅力に改めて気付く契機となるように取り組んでいってほしい、と鳥取県でのオリンピック・パラリンピック教育の推進への抱負を述べられました。さらに、各推進校に認定証の授与が行なわれました。

続いて、本センターの深見副センター長より、「オリンピック・パラリンピック・ムーブメント全国展開事業」の概要説明がありました。具体的には、本事業の経緯、事業体制、年間スケジュール、学習指導要領におけるオリンピック・パラリンピック教育の位置づけ、諸組織によるオリンピック・パラリンピック教育に関連する取り組みについて説明されました。



住友氏から各推進校へ認定証を授与



深見副センター長の講義

次に、本センターの岡田研究員より他地域の実践事例や教材の紹介が行われました。アスリートの講演や実技指導だけでなく、教科と関連づけて行われた実践事例についても学校種ごとに紹介されました。また、「オリンピック・パラリンピック教育指導参考資料」（スポーツ庁）や「I'mPOSSIBLE」（JPC、パラリンピックサポートセンター）等のオリンピック・パラリンピック教育用教材も紹介されました。最後に、パラリンピックのリオデジャネイロ大会における閉会式の映像や「WHO I AM」の映像（ベアトリーチェ・ヴィオ／フェンシング／イタリア）の視聴を行いました。続いて、鳥取県教育委員会事務局の体育保健課の池田氏より、本事業を推進するうえでアスリートを招聘する際の手続きや「I'mPOSSIBLE アワード」について説明がありました。



岡田研究員の講義



池田氏の説明

最後に、小学校と中学校・高等学校・特別支援学校の2グループに分かれて情報交換が行われました。各グループでは、各校の実践計画と事業を推進するうえでの課題について説明いただき、それらについて意見交換を行いました。各校の特色が出ている実践計画になっており、意見交換でも様々なアイデアが出ました。



グループワークの様子①



グループワークの様子②